

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>「高齢者学級（学級生56人）・婦人学級（学級生52人）」は年9回の講座を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、社会見学が中止となり8回の実施となりました。実施内容としては、様々な講座（マネー学習・人権学習・健康学習）や教材実習（フラワーアレンジメント・色鉛筆講座・給手紙教室）、音楽鑑賞会等を実施しました。</p> <p>「歴史を学ぶ講座」は「聖徳太子～没後1400年～」をテーマに年10回の講演を行い、新型コロナウイルス感染症対策として、1回の講演を2日に分け、40人ずつ計80人の受講がありました。</p> <p>「歴史ガイドボランティア養成講座」は新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を随時変更しながら9回実施しました。実施内容としては、講座や近隣市町村（王寺町・香芝市等）のガイド見学を行いました。他にも、上牧町ジュニアリーダー研修事業（歴史散策）や奈良県ウォーキング協会主催の事業に参加し、片岡城跡のガイドを行い、ガイド活動としては初となりました。</p> <p>「家庭教育親子講座」は、クリスマスリース作り（参加者17組）を実施しました。</p> <p>「家庭教育講座」については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。</p>			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>「高齢者・婦人学級」は、毎年度末にアンケート調査を実施し、アンケート結果を踏まえながら内容の企画を行っています。令和3年度のアンケートでは、音楽鑑賞や体験型の教材実習が好評でした。</p> <p>「歴史を学ぶ講座」は、毎年定員を上回る応募があり、住民にある程度ニーズがあるように感じます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
<p>評価の根拠及び理由</p> <p>各講座とも参加者のニーズに合った内容の講座づくりが必要だと考えます。</p> <p>「歴史を学ぶ講座」は、平成28年度から町内在住の元放送作家に協力していただき、文化財専門員と共に毎年度講座の内容を変えて行っていますが、長期的に継続して講座を行っていくのであれば、講師陣の人材確保も必要です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、各会場の使用人数が制限されているため、講座の会場の利用には慎重に検討する必要があります。</p>				

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 各講座ともアンケート結果を踏まえて、ニーズに合った内容の講座を検討して実施します。 新型コロナウイルス感染症の影響により、各会場の利用停止や使用人数の制限、あるいは緩和される場合がありますので、講座の会場の利用には慎重に検討し、変更があった場合は柔軟に対応する必要があります。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	基本施策	基本施策	① 生涯学習		
		施策の展開方向	① 生涯学習機会の充実		
	指標（予定）	KPI	生涯学習事業への参加者数（年間）	250人	
		—	—	—	

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																									
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																												
	各教室とも5月～翌年3月2日まで（全17回）の文化教室事業を行い、申込者164名に対し受講生は149名で、全回数17回の内70%（12回）以上受講された方が（履修率）76%でした。教室申込時も講師より判りやすく説明したチラシを置くような試みをしました。結果、申込者数・受講者数・履修率とも目標に達しました。																																												
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																									
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">【文化教室受講状況】</th> </tr> <tr> <th></th> <th>教室数</th> <th>申込者数</th> <th>受講者数</th> <th>履修者数</th> <th>履修率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>13</td> <td>180</td> <td>164</td> <td>120</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>12</td> <td>160</td> <td>147</td> <td>96</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>13</td> <td>175</td> <td>161</td> <td>104</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>13</td> <td>129</td> <td>123</td> <td>88</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>13</td> <td>164</td> <td>149</td> <td>113</td> <td>76%</td> </tr> </tbody> </table>				【文化教室受講状況】							教室数	申込者数	受講者数	履修者数	履修率	平成29年度	13	180	164	120	73%	平成30年度	12	160	147	96	65%	令和元年度	13	175	161	104	65%	令和2年度	13	129	123	88	72%	令和3年度	13	164	149	113
【文化教室受講状況】																																													
	教室数	申込者数	受講者数	履修者数	履修率																																								
平成29年度	13	180	164	120	73%																																								
平成30年度	12	160	147	96	65%																																								
令和元年度	13	175	161	104	65%																																								
令和2年度	13	129	123	88	72%																																								
令和3年度	13	164	149	113	76%																																								
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																									
	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																												
	教室の名前を中高年層に馴染みあるものに変更したことにより認知度が上がりましたが、受講数の増加に結びつきませんでしたので、中高年に受け入れられやすくなるように募集チラシに講習内容を明記するように検討します。																																												

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今年度も、コロナ禍の中、開講しましたが、満足の声をいただいています。新規教室の開講に向けて準備を整え受講者の増加につなげられるように努めます。					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧つ子を育むまちづくり—				
		基本施策	① 生涯学習				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 生涯学習機会の充実					
	指標（予定）	KPI	文化教室全受講者数			180人	
		—					
—							
—							

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	<p>●事業の分析（評価の根拠・理由）</p> <p>年間計画に宿泊研修以外に野外活動2回（オリエンテーリング・雪中登山）と研修プログラムに救急講習を取り入れ、実際に台風や地震等の自然災害が起こった時に地域の避難所で役立つ研修も実施しました。</p> <p>また、歴史ガイドボランティア養成講座の受講生にジュニアリーダー研修時にガイド案内（片岡城跡）をしてもらい、郷土学習が実施できました。宿泊研修は新型コロナウイルス感染症の影響により、密を避けるため集団で行う研修が出来ず工作の研修が多くなり、宿泊研修は日帰り研修になりましたが、豊かな自然の中で自然観察やアスレチック等様々な経験ができ充実した時間を過ごすことができました。</p>			
ニーズの方向性	評価	<input type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input checked="" type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>令和3年度ジュニアリーダー研修（全8回実施） 登録人数 上級リーダー6名 中学生5名 小学生17名</p> <p>第2回～3回 オリエンテーション・レクリエーション・ゲーム</p> <p>第4回 日帰り研修（奈良県立野外活動センター）勾玉づくり、フィールドアスレチック</p> <p>第5回 クラフト体験（指導員による工作づくり）</p> <p>第6回 体験学習（大和郡山市立野外活動センター 風とんぼ）ハイキング・ネイチャーゲーム</p> <p>第7回 救命講習（西和消防署）</p> <p>第8回 歴史ガイドボランティアのガイドによる歴史散策（片岡城跡等）</p> <p>第9回 クリスマス会（クリスマスリース作り）</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	<p>●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。</p> <p>令和3年度ジュニアリーダー研修（全8回実施） 登録人数 上級リーダー6名 中学生5名 小学生17名</p> <p>第2回～3回 オリエンテーション・レクリエーション・ゲーム</p> <p>第4回 日帰り研修（奈良県立野外活動センター）勾玉づくり、フィールドアスレチック</p> <p>第5回 クラフト体験（指導員による工作づくり）</p> <p>第6回 体験学習（大和郡山市立野外活動センター 風とんぼ）ハイキング・ネイチャーゲーム</p> <p>第7回 救命講習（西和消防署）</p> <p>第8回 歴史ガイドボランティアのガイドによる歴史散策（片岡城跡等）</p> <p>第9回 クリスマス会（クリスマスリース作り）</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 「ジュニアリーダー研修」スポーツ振興係が実施している「子どもウォーキング」等に参加することや、プログラムの見直し、参加募集時の案内チラシの工夫を行います。また、中学生に進級して辞めてしまった生徒に再度ジュニアリーダーとして活動に参加してもらえないか募集をする予定です。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	指標（予定）	基本施策	① 生涯学習		
		施策の展開方向	② 青少年の健全育成		
		KPI	ジュニアリーダー研修新規登録者数（年間）	10人	
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																														
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																																	
	<p>「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」</p> <p>主な活動として図書支援・環境支援・授業支援等を行いました。新型コロナウイルス感染症により、活動に制限がある中でも、できる範囲で工夫（密を避けてボランティアの人数を制限する等）して実施しました。小学校について、登下校見守り支援では、登下校時にボランティアによる声掛けによって、学校での出来事を話す児童がおり、児童にとって心の安心感へとつながる存在になっていると考えます。また、その他の支援についても、ボランティアとのつながりが強くなり、児童は気軽に声をかけたりすることが増え、地域交流が図られていると考えます。</p> <p>「まきっ子塾」</p> <p>令和3年度も関係課と連携して学童保育利用者に声掛けを行い、参加人数を13人拡大することができました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で8回のみの実施となったため、年度末に保護者と児童に対して、アンケート調査は行いませんでしたが、前年度から新しく取り組んでいる、児童のお迎え時に保護者へ児童の学習の様子や体調を伝えることで、今年度も保護者に安心してもらえました。学習アドバイザーは58人で、うち学生は11人おり、教員経験者や教員を目指す学生等にアドバイザーになっていただいています。退職された教員等をアドバイザーに起用することで、高齢者の生きがいづくり、地域づくりの場となっています。教員を目指す学生にとっては、退職した教員等と交流することにより、将来について相談に乗ってもらえる機会もでき、多世代交流の機会の拡大が図られていると考えます。</p>																																																																																	
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																																		
(各年度5月1日時点)																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">上小</th> <th colspan="2">二小</th> <th colspan="2">三小</th> <th colspan="2">合計</th> <th rowspan="2">うち、学童保育 利用人数</th> </tr> <tr> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>65</td> <td>33.7%</td> <td>46</td> <td>27.9%</td> <td>76</td> <td>49.7%</td> <td>187</td> <td>36.6%</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>53</td> <td>31.4%</td> <td>52</td> <td>33.5%</td> <td>61</td> <td>43.3%</td> <td>166</td> <td>35.7%</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>37</td> <td>22.8%</td> <td>48</td> <td>34.8%</td> <td>51</td> <td>37.0%</td> <td>136</td> <td>31.1%</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>43</td> <td>27.4%</td> <td>62</td> <td>45.9%</td> <td>51</td> <td>36.7%</td> <td>156</td> <td>36.2%</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>49</td> <td>29.3%</td> <td>49</td> <td>42.2%</td> <td>63</td> <td>42.0%</td> <td>161</td> <td>37.2%</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>33</td> <td>22.8%</td> <td>56</td> <td>48.3%</td> <td>65</td> <td>37.6%</td> <td>154</td> <td>35.5%</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>						上小		二小		三小		合計		うち、学童保育 利用人数	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87	平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76	平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55	令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65	令和2年度	49	29.3%	49	42.2%	63	42.0%	161	37.2%	76	令和3年度	33	22.8%	56	48.3%	65	37.6%	154	35.5%	83
	上小		二小			三小		合計		うち、学童保育 利用人数																																																																								
	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合																																																																										
平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87																																																																									
平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76																																																																									
平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55																																																																									
令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65																																																																									
令和2年度	49	29.3%	49	42.2%	63	42.0%	161	37.2%	76																																																																									
令和3年度	33	22.8%	56	48.3%	65	37.6%	154	35.5%	83																																																																									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																														
	評価の根拠及び理由																																																																																	
	<p>「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」</p> <p>令和3年度も地域のボランティアから意欲的により良い学校づくりのために様々な活動を行いたいと要望がありました。地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図るためには、ボランティアの存在が必要不可欠であり、地域の方々と良好な関係を築き、子どもたちの健全育成に情熱を持って活動していただいていますので、ますます重要な人材となると考えます。</p> <p>「まきっ子塾」</p> <p>令和3年度の「まきっ子塾」参加人数は154人で、安全性を考えて必ず保護者のお迎えがいることで、すべての児童の参加は見込まれませんが、事業内容に関して、回数や対象学年の拡大等の要望は増えています。対象学年に関しましては、これからも小学1年生～3年生までの枠組みで運営していく方向です。</p>																																																																																	
事業の見直し余地 (改善点)	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																														
	評価の根拠及び理由																																																																																	
	<p>「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」</p> <p>学校の要望のバランスがうまくとれるようなボランティアの配置が必要であり、併せて欠員補充のためにボランティアへの働きかけや新規のボランティアの募集が必要であると考えます。</p> <p>「まきっ子塾」</p> <p>「まきっ子塾」は児童3,4人に学習アドバイザー1人を基本に考えていますが、新型コロナウイルスの影響等で休まれていたアドバイザーの方々がおられたため、アドバイザーの人数が足りず、学校によっては児童5,6人にアドバイザー1人のグループになったり、グループを担当するアドバイザーが頻繁に変更になったりするなど、児童一人一人に寄り添った指導が十分に機能しない学校、学年がありました。児童が落ち着いて学習するためにもアドバイザーの人数確保と適切な配置が必要であると考えます。</p>																																																																																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了 (時期:)	
	改善内容 (改善点に対する改善方法等)	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり (下の枠に改善内容を記載してください。) 「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」 ボランティアの募集について、募集チラシを作成しカラーで活動写真を載せるなど、工夫していますが、現状での活動にボランティアが必要かなど、分かりやすくインパクトのあるチラシの作成を検討していきます。 「まきっ子塾」 平成28年9月から始まり、今後も家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的に取り組んでいきます。放課後に「まきっ子塾」で楽しく学習することによって、少しずつではありますが、勉強が好きになり、学力の向上については、長い目で見ていく必要があると考えます。児童が落ち着いて学習するためにも学習アドバイザーの人数確保が必要であり、県内の大学に募集チラシ等の設置等を依頼し、町HP等での周知の徹底をするなど、アドバイザーの確保に向けた取組が必要であると考えます。					
後期 基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続 (名称変更)	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づく上牧つ子を育むまちづくり—				
		基本施策	① 生涯学習				
令和4年度 実施予定 (改善内容を踏まえて 記載してください。)	施策の展開方向	③ 多世代交流機会の創出					
	「上牧町学校・地域パートナーシップ事業」 町内の小学校3校、中学校2校及び幼稚園において、学校支援ボランティアが図書支援・環境支援・登下校見守り支援・授業支援等を継続して行う予定です。ボランティアの方々に、特技や趣味等を生かして学校の教育活動に協力していただくことにより、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に実施します。 「まきっ子塾」 学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的に、水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自主学習の支援を行っていきます。保護者のお迎えについても、この数年の多発する交通事故や不審者問題を少しでも解決するため、従来どおり保護者にお迎えに来てもらう形で進めていきます。また、開塾にあたっては新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大の状況を見ながら、令和2年度に作成した新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを遵守し、マスクの着用、机にアクリル板・教室には二酸化炭素濃度測定器を設置、消毒や検温、換気を徹底し、開催できるように進めていきます。 小学校への入学児童数は、年々減少傾向にありますが、「まきっ子塾」への児童の参加割合と内容の充実については、児童数の増減に関わらず、着実に進めていきます。その他、一人でも多くの児童に参加してもらうために、広報、ホームページ掲載、募集チラシの工夫、学童保育利用者への声掛け等、関係課との連携を図ります。 学習アドバイザーの人数確保のために、県内の大学に募集チラシなどの設置等を依頼し、町HP等での周知の徹底をするなど、アドバイザーの確保に取り組めます。						
	指標 (予定)	KPI	学校支援ボランティア登録者数 (年間)			250人	
	KPI	「まきっ子塾」学習アドバイザー登録者数 (年間)			60名		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	第一町民体育館防犯カメラの老朽化に伴う入替と体育館東面に新たに1台新設工事を行ったことにより、体育施設の維持管理に向けて防犯対策を目的に設置することができました。			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	体育施設の老朽化が進んでいるので、中長期財政計画に基づき計画的に修繕等を行い長寿命化を図ります。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	施設の老朽化もあり、第一テニスコート及び第一町民体育館アリーナ壁についても、改修が必要と思いますので、施設の健全化を検討しながら適正管理を行う必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 老朽化している施設の整備については、第一テニスコートの全面改修及び第一町民体育館アリーナ壁改修を含めて各体育施設の現状を踏まえて作成した個別施設計画に基づき施設整備を実施します。中長期財政計画に基づき計画的に対応していきます。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—		
		基本施策	② 生涯スポーツ		
施策の展開方向		① スポーツ施設の整備			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）		利用者の方々が安心安全に施設を利用できるように、第一テニスコート改修工事設計業務委託を行い、令和5年度に向けて全面改修工事を行います。 第一町民体育館のアリーナ壁改修工事も実施します。			
指標（予定）		—			
		—			
		—			
		—			
		—			

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																				
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																							
	<p>上牧町スポーツ協会主催事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。（※会長杯グラウンドゴルフ大会及び市町村対抗こども駅伝大会選考会は開催。）</p> <p>スポーツ推進委員主催事業については、当初予定の6月の子どもウォーキング、11月にさわやかウォーキングも時期をずらしての対応をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。</p> <p>体育事業のスポーツ教室については、感染症対策のガイドラインに基づき受講者の手洗い、消毒、マスク等の感染防止対策を行いながらストレッチ体操を12回開催し参加者は19人でした。</p> <p>町民プールは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p>																																							
達成度	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																							
	体育施設の達成度	令和元年度から令和3年度																																						
	スポーツ協会行事	元年度	2年度	3年度																																				
グラウンドゴルフ、ソフトボール大会、スポーツフェスティバル、町民体育祭、マラソン大会、雪中登山、市町村子ども対抗駅伝	580	0	91	<table border="1"> <tr> <td>体育施設</td> <td>元年度</td> <td>2年度</td> <td>3年度</td> </tr> <tr> <td>体育館（第一体育館）</td> <td>5,777</td> <td>6,190</td> <td>7,218</td> </tr> <tr> <td>体育館（第二体育館）</td> <td>13,309</td> <td>12,663</td> <td>14,393</td> </tr> <tr> <td>テニスコート（第一）</td> <td>413</td> <td>507</td> <td>612</td> </tr> <tr> <td>テニスコート（第二）</td> <td>336</td> <td>377</td> <td>459</td> </tr> <tr> <td>テニスコート（第三）</td> <td>910</td> <td>886</td> <td>1,128</td> </tr> <tr> <td>健民グラウンド</td> <td>209</td> <td>243</td> <td>274</td> </tr> <tr> <td>釘池グラウンド</td> <td>42</td> <td>31</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>東公園グラウンド</td> <td>455</td> <td>376</td> <td>459</td> </tr> </table>	体育施設	元年度	2年度	3年度	体育館（第一体育館）	5,777	6,190	7,218	体育館（第二体育館）	13,309	12,663	14,393	テニスコート（第一）	413	507	612	テニスコート（第二）	336	377	459	テニスコート（第三）	910	886	1,128	健民グラウンド	209	243	274	釘池グラウンド	42	31	49	東公園グラウンド	455	376	459
体育施設	元年度	2年度	3年度																																					
体育館（第一体育館）	5,777	6,190	7,218																																					
体育館（第二体育館）	13,309	12,663	14,393																																					
テニスコート（第一）	413	507	612																																					
テニスコート（第二）	336	377	459																																					
テニスコート（第三）	910	886	1,128																																					
健民グラウンド	209	243	274																																					
釘池グラウンド	42	31	49																																					
東公園グラウンド	455	376	459																																					
※ 令和元年度 体育祭は天候不良の為 中止		※ テニスコート、グラウンドについては、利用件数																																						
※ 2年度 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為 中止		※ R2年度 4月5月は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為 公共施設の利用を休止																																						
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																				
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>運動は苦手だけど、健康のため体を動かしたい幅広い年齢層に、スポーツライフを豊かにする生涯スポーツへの関心が高まっています。ニュースポーツは、子どもから高齢者まで、また障がいの有無に関わらずにみんなで一緒に楽しめることのできるものが多く、各地で盛んに行われていますが、上牧町においても、自治会等で、誰でも参加しやすいニュースポーツの需要が見込まれています。</p>																																							
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																				
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>スポーツ推進委員及びスポーツ協会でニュースポーツ啓発活動に取り組んでいますが、ニュースポーツ推進拡大に向けて様々な啓発活動を検討していく必要があります。</p>																																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 今後も、上牧町スポーツ協会やスポーツ推進委員と協議しながら、各種大会・体育事業の内容の充実と円滑な運営を図ります。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—	
		基本施策	② 生涯スポーツ	
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	② スポーツ活動の振興		
	上牧町スポーツ協会主催事業については、各施設の新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインを守りながら事業計画等を進めて行います。 スポーツ推進委員主催事業については、子どもウォーキング・さわやかウォーキングを行います。 体育事業のスポーツ教室（ストレッチ体操）については、開催します。 体育施設の利用については、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、公共施設の貸出を行います。共有部分の消毒及び体育施設の機器の点検を実施していきます。			
	指標（予定）	KPI	スポーツ施設利用申込件数（年間）	4,100件
	KPI	ニュースポーツ備品貸出件数（年間）	30件	
	—			
	—			
	—			

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	88ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—		
	基本施策	③ 人権教育		
	施策の展開方向	① 人権教育の推進		
目指す姿	タイトル	人権尊重の精神が息づくまち		
	町民の一人ひとりが、人権の大切さを自覚し、すべての人を大切にできる差別のない明るいまちづくりを目指します。			
想定される取組	【すべての教科・領域において人権教育や道徳教育を基軸に推進】【子どもの読書活動の推進】【幼少期における規範・人権意識の醸成】			
令和3年度実施予定	趣旨目的	行政、幼稚園・小中学校・地域が連携し、積極的な人権学習を推進します。		
	内容	ヒューマンライツセミナーを実施し、人権学習の継続と発展を推進します。指導者研修会を実施し、各関係機関の代表を中心に参加を呼びかけ、実践力を高める研修会を実施します。		
総合戦略の取組	5.人権教育の推進			

2. 実施結果「D0（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）		
事業費	人権教育推進事業	1,209	1,191	1,134	841	1,244		
		1,209	1,191	1,134	841	910		
合計	(R03時点)	1,209	1,191	1,134	841	1,244	5年間累計	5,619
	(R04時点)	1,209	1,191	1,134	841	910	5年間累計	5,285
令和3年度実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した						
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	ヒューマンライツセミナーin上牧は計画どおり実施しましたが、指導者研修会は、コロナウイルス感染症拡大のために中止となりました。						

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
KPI	人権作文	回数	1	1	1	1	1
KPI	人権啓発ポスター・標語の募集及び展示	回数	1	0	1	1	1
独自	ヒューマンライツセミナー参加者数	参加者数	—	—	60 141	—	—
独自	指導者研修会参加者数	参加者数	—	—	60 —	—	—

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>①10月26日（火）ベガサスホールでヒューマンライツセミナーin上牧を開催しました。「性的マイノリティと人権～性の多様性をめぐる現状と課題～」と題して、中田ひとみさん（性と生を考える会代表）に講演していただきました。性の多様なあり方について学び、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現にむけて、課題とその解消について考えました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策として、大ホールに会場を変更し、町PTA協議会の「青少年問題講演会」と共催というかたちを取り、参加者を増やしました。幼稚園、小中学校の保護者の参加が多かったことで、子どもたちを取り巻く環境に課題を提供できたことが成果としてあげられます。なお、ヒューマンライツセミナーin上牧の参加者は141名でした。アンケート調査の結果、満足度は83%でした。</p> <p>②指導者研修会については、「どんづるぼう現地フィールドワーク」（講師 田中正志さん）を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のために、中止となりました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>平成28年度人権三法（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行され、本町でも、令和3年9月に「上牧町あらゆる差別の解消の推進に関する条例」が施行されました。人権に関係した条例等、法整備が年々進められてきており、差別をなくすための施策と行動をさらに充実させなければならない責任が増してきたと考えられます。インターネットによる差別扇動、庁舎の窓口への「同和地区問い合わせ」等に加えて、近年は「コロナ差別」も大きな社会問題となってきており、それに対応した取組や組織づくりが求められています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、開催条件を工夫するなどして実施の方向を検討する必要があります。また、人権に関する問い合わせや電話対応について、職員の資質を高める研修が必要です。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、研修会等は定員制を設けて実施する必要があると考えます。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない場合にあっても、情勢に応じてできることを探っていくことが必要です。					
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—				
		基本施策	③ 人権教育				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	① 人権教育の推進					
	ヒューマンライツセミナー・指導者研修会等を実施し、人権学習の継続と発展を推進します。新型コロナウイルスの影響で、参加者を制限することがまだまだ必要であると思われませんが、一方で、広い会場で実施することで、他団体との共催を考え、参加者数を増やす方向で調整します。人権に関する問い合わせや電話対応について、職員の資質を高める研修を令和5年度に実施できるように調整を行います。						
	指標（予定）	KPI	ヒューマンライツセミナー新規受講者数（累計）			10人	
		—					
		—					
—							

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	令和3年度に予定していた学校施設整備、ICT環境整備についてはすべて実施することができました。特にICT環境の整備に関しては、令和2年度に児童生徒1人につき1台の情報端末機が整備されましたが、この情報端末機を家庭学習や、学校での授業において効果的に活用できる環境を整えることができました。また、各小中学校の自動水洗改修や二酸化炭素濃度測定器の設置等、地方創生臨時交付金を活用することで、学校生活における子どもたちの安全の確保、学習環境の改善につなげることができたと考えます。			
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	社会全体のデジタル化が進む中で、教育現場でも先端技術の効果的な活用が求められており、各小中学校におけるICT環境の整備に対するニーズも高まっています。 また、学校施設の安全性の向上は、保護者の強い関心・ニーズがあります。			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	ICT機器の活用にあたっては、オンライン授業や家庭学習など、活用の幅が広がっていますが、家庭によっては、オンライン環境が整備されていない児童生徒もいることから、GIGAスクール構想において掲げられている「誰一人取り残すことのない学び」を実現するため、早急に環境整備を支援する必要があります。 また、令和3年度に策定された学校適正化基本計画や個別施設計画を踏まえ、今後、より一層計画的に学校施設の整備を進めていく必要があります。			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了（時期：）
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） すべての児童生徒が家庭学習においてICT機器を活用できるよう、モバイルルーターの貸出を行います。				
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input checked="" type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—			
		基本施策	④ 学校教育			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向		① 学習環境の充実			
	子どもたちが安全かつ快適に学習できる環境を確保するため、必要な工事等を行います。また中学校に関しては目標年度となる令和8年度の統合に向けて、学校統合準備委員会（全体会6回 部会（総務・通学路・学校教育・PTA）各6回開催予定）を設置するとともに、統合校の校舎となる上牧中学校の整備に向けた基本設計等の業務を実施します。 （学校施設整備） ● 上牧第二小学校多目的室・会議室窓手摺設置工事 ● 上牧第三小学校多目的室空調機新設工事 ● 上牧第三小学校照明器具取替工事 ● 小中学校体育館空調機設置工事（実施設計） ● 上牧中学校多目的ホール空調機新設工事 ● 中学校バガサス教室空調機設置工事 （ICT環境整備・充実） ● ICT支援員の配置 ● 教員向け研修の実施 ● タブレット等各種ICT機器の確保 ● 貸出用モバイルルーターの確保					
	指標（予定）	KPI	教員向け研修開催回数（年間）			2回
		—				
		—				

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																				
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																							
	(ICT研修) 上牧町 Google G Suite 研修会 ●講師 株式会社大崎コンピュータエンジニアリング ●日時 令和3年4月5日(月)～令和3年4月9日(金) 参加者 教員63名(各学校代表者) 「G Suite 教職員向け基礎研修(授業編)」 ※その他、ICT機器の使用に関するフォローアップ研修を株式会社大崎コンピュータエンジニアリング主催で実施していただきました。(参加者数等は不明) (その他) GIGAスクールサポーターを配置し、ICT機器を活用した本格的な授業展開を開始するにあたり、基礎となるセキュリティポリシーの作成に加え、ICT機器を活用した授業づくりのサポートを行うICT支援員を配置し、円滑な授業展開に役立てることができました。																							
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																							
	● ICTに関する研修の実施状況																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>全教職員</td> <td>65名</td> <td>13名</td> <td>30名</td> <td>101名</td> <td>63名(※)</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> (※) フォローアップ研修の参加者数は不明					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	参加者数	全教職員	65名	13名	30名	101名	63名(※)	回数	1回	2回	1回	1回	2回
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度																		
参加者数	全教職員	65名	13名	30名	101名	63名(※)																		
回数	1回	2回	1回	1回	2回	2回																		
事業の見直し余地(改善点)	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																				
	評価の根拠及び理由																							
	ICT機器の効果的な活用により、児童生徒の学習意欲の向上を促し、学力向上につながる授業研究を実施していきたいと考えます。また、研修会については、ICT活用のレベルに応じた教員研修の実施を検討しています。																							

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了 (時期:)			
	改善内容(改善点に対する改善方法等)	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり(下の枠に改善内容を記載してください。) 「ICT機器の効果的な活用について、教育改革推進プロジェクト(授業研究)等で調査・研究するなど、児童生徒の学習意欲や教員のリテラシー(知識や能力を活用する力)向上につなげたいと考えます。			
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続(名称変更) <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化―歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり―		
		基本施策	④ 学校教育		
令和4年度実施予定(改善内容を踏まえて記載してください。)	施策の展開方向	① 学習環境の充実			
	子どもたちが安全かつ快適に学習できる環境を確保するため、必要な工事を行います。また中学校に関しては目標年度となる令和8年度の統合に向けて、学校統合準備委員会(全体会6回 部会(総務・通学路・学校教育・PTA)各6回開催予定)を設置するとともに、統合校の校舎となる上牧中学校の整備に向けた基本設計等の業務を実施します。 (学校施設整備) ● 上牧第二小学校多目的室・会議室窓手摺設置工事 ● 上牧第三小学校多目的室空調機新設工事 ● 上牧第三小学校照明器具取替工事 ● 小中学校体育館空調機設置工事(実施設計) ● 上牧中学校多目的ホール空調機新設工事 ● 中学校ベガス教室空調機設置工事 (ICT環境整備・充実) ● ICT支援員の配置 ● 教員向け研修の実施 ● タブレット等各種ICT機器の確保 ● 貸出用モバイルルーターの確保				
	指標(予定)	KPI	教員向け研修開催回数(年間)		2回

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	90ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—			
	基本施策	④ 学校教育			
	施策の展開方向	② 子どもの学力向上支援			
目指す姿	タイトル	子どもの能力を伸ばせるまち			
		学校・家庭・地域が連携した本町独自の教育体制・教育環境の充実により、児童生徒一人ひとりの能力・学力を伸ばすことのできるまちを目指します。			
想定される取組	【ICTを活用した教育支援】【学校支援事業の研究・協議】【様々な専門講座の開催】【まきっ子塾の開催】				
令和3年度実施予定	趣旨目的	<p>「まきっ子塾」 学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的としています。事業費については、「⑤教育文化①生涯学習③多世代交流機会の創出」の事業費に掲載されています。</p> <p>「子ども体験学習」 青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習機会を提供するために実施します。</p>			
	内容	<p>「まきっ子塾」 水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行います。</p> <p>「子ども体験学習」 前年度と同様に理科の実験・工作教室を継続して実施する予定です。茶道教室についても引き続き実施予定です。また、新しい取組として、木工工作を採り入れ、全6回の体験講座を開催する予定です。さらに、ペガサスフェスタ開催日にブースを設けることで、より多くの子どもたち、保護者に積極的に参加し体験していただきたいと考えます。</p>			
総合戦略の取組	2. 学習支援教室（まきっ子塾）の開催	14. 様々な専門講座の開催			

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）		
事業費	上牧町学力支援向上事業（まきっ子塾）						事業費は⑤教育文化①生涯学習③多世代交流機会の創出に掲載	
	子ども体験学習事業		45	80	80	106	136	
	合計	(R03時点)	45	80	80	106	136	5年間累計 447
		(R04時点)	45	80	80	106	78	5年間累計 389
令和3年度実施結果	実施状況	②計画通りに実施できなかった						
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	<p>「まきっ子塾」 新型コロナウイルス感染症の影響により、一学期は中止、二学期は10月20日から始まり、三学期は1月12日で終了となりました。年度末の保護者と児童に対してのアンケート調査は、開催回数が8回のみの実施であったため、前年度に引き続き行いませんでした。保護者や学習アドバイザーへの連絡（「まきっ子塾」の再開、中止、これからの予定等）は、適宜丁寧に行いました。</p> <p>「子ども体験学習」 全6回の体験講座を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、4回のみ開催となりました。また、ペガサスフェスタ開催日にブースを設け、より多くの参加者に体験していただくことを検討していましたが、ペガサスフェスタの中止により、実施することができませんでした。</p>						

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
KPI 学校支援事業の研究・推進	勉強が好き・よくわかると思う子どもの割合	%	【小学6年生】 国語56.7 (県61.4) 算数66.3 (県62.8) 【中学3年生】 国語51.3 (県56.5) 数学59.0 (県53.2)	新型コロナウイルスの影響で、学力調査中止のため実績値なし	県平均以上 【小学6年生】 国語54.2 (県56) 算数65.1 (県63.7) 【中学3年生】 国語59.8 (県57.5) 数学40.9 (県53.5)	県平均以上	県平均以上
独自	保護者が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合	%	-	-	97	-	-
独自	小学1年生から3年生のまきっ子塾に参加している児童の割合	%	-	-	40 35.5	-	-
独自	専門講座の年間開催数	回	-	-	6 4	-	-

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																																														
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																																	
	<p>「まきっ子塾」 児童参加人数の実績は、上牧小学校33名・上牧第二小学校56名・上牧第三小学校65名 合計154名です。令和3年度も関係課と連携して学童保育利用者に声かけを行い、参加人数を13名拡大することができました。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で8回の実施となったため、令和2年度に引き続き保護者と児童に対して、年度末のアンケート調査は行いませんでした。しかし前年度から新しく取り組んでいる、児童のお迎え時に保護者へ児童の学習の様子や体調を伝えることで、今年度も保護者に安心してもらえました。「『まきっ子塾』で勉強してくれるので助かります」「『まきっ子塾』が楽しいと言っていました」等の声を多数いただきました。また、児童からも「『まきっ子塾』が待ち遠しい」「来年も『まきっ子塾』にきたい」等の声があがっており、概ね目標の成果を得られたと考えます。</p> <p>「子ども体験学習」 本町の子どもたちにとって理科は苦手な領域であるため、理科好きの生徒の育成を目的として、令和2年度に引き続き理科の実験・工作教室を主として実施しました。また、新型コロナウイルス感染症により、中止や定員を縮小して実施しましたが、各講座とも大変人気があり、好評を得ることができました。他にも、理科教室の「プラネタリウムと天体観測」について、その日は月食・木星・土星が一度に観測でき、夜間の講座としては初めての取組となりました。</p> <p>（実施内容）</p> <p>①理科教室「家庭にあるものを使った簡単な分析体験」 (小学5・6年生) 16名 ②木工工作(2回)「小さなアイス作り」 (5歳～小学3年生・保護者) 10組23名 ③理科教室「プラネタリウムと天体観測」 (小学生・保護者) 12組33名</p> <p>（参加者数） 令和2年度：24組101名 令和3年度：22組72名</p>																																																																																	
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																																		
（各年度5月1日時点）																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">上小</th> <th colspan="2">二小</th> <th colspan="2">三小</th> <th colspan="2">合計</th> <th rowspan="2">うち、学童保育 利用人数</th> </tr> <tr> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> <th>まきっ子塾 参加人数</th> <th>参加割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>65</td> <td>33.7%</td> <td>46</td> <td>27.9%</td> <td>76</td> <td>49.7%</td> <td>187</td> <td>36.6%</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>53</td> <td>31.4%</td> <td>52</td> <td>33.5%</td> <td>61</td> <td>43.3%</td> <td>166</td> <td>35.7%</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>37</td> <td>22.8%</td> <td>48</td> <td>34.8%</td> <td>51</td> <td>37.0%</td> <td>136</td> <td>31.1%</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>43</td> <td>27.4%</td> <td>62</td> <td>45.9%</td> <td>51</td> <td>36.7%</td> <td>156</td> <td>36.2%</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>49</td> <td>29.3%</td> <td>49</td> <td>42.2%</td> <td>63</td> <td>42.0%</td> <td>161</td> <td>37.2%</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>33</td> <td>22.8%</td> <td>56</td> <td>48.3%</td> <td>65</td> <td>37.6%</td> <td>154</td> <td>35.5%</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>						上小		二小		三小		合計		うち、学童保育 利用人数	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87	平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76	平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55	令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65	令和2年度	49	29.3%	49	42.2%	63	42.0%	161	37.2%	76	令和3年度	33	22.8%	56	48.3%	65	37.6%	154	35.5%	83
	上小		二小			三小		合計		うち、学童保育 利用人数																																																																								
	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合	まきっ子塾 参加人数	参加割合																																																																										
平成28年度	65	33.7%	46	27.9%	76	49.7%	187	36.6%	87																																																																									
平成29年度	53	31.4%	52	33.5%	61	43.3%	166	35.7%	76																																																																									
平成30年度	37	22.8%	48	34.8%	51	37.0%	136	31.1%	55																																																																									
令和元年度	43	27.4%	62	45.9%	51	36.7%	156	36.2%	65																																																																									
令和2年度	49	29.3%	49	42.2%	63	42.0%	161	37.2%	76																																																																									
令和3年度	33	22.8%	56	48.3%	65	37.6%	154	35.5%	83																																																																									
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																																														
	評価の根拠及び理由																																																																																	
	<p>「まきっ子塾」 保護者の意見として、「もっと回数を増やしてほしい」、「もっと時間を増やしてほしい」、「4～6年生もしてほしい」、「お迎えなしにしてほしい」等、事業内容に関して、回数や対象学年の拡大等の要望が引き続きありますが、これからも対象学年については、学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生までの枠組みで運営していく方向です。</p> <p>「子ども体験学習」 普段、学校の授業では体験できないような個々の能力を伸ばす専門的な体験講座の開催が求められています。</p>																																																																																	
事業の見直し余地 (改善点)	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない																																																																														
	評価の根拠及び理由																																																																																	
	<p>「まきっ子塾」 「まきっ子塾」は児童3,4人に学習アドバイザー1人を基本に考えていますが、新型コロナウイルスの影響等で休まれていたアドバイザーの方がおられたため、アドバイザーの人数が足りず、学校によっては児童5,6人にアドバイザー1人のグループになったり、グループを担当するアドバイザーが頻りに変更になったりするなど、児童一人ひとりに寄り添った指導が十分に機能しない学校、学年がありました。児童が落ち着いて学習するためにもアドバイザーの人数確保と適切な配置が必要であると考えます。</p> <p>「子ども体験学習」 平成28年度から実施している事業であり、本町の子どもたちは理科が苦手ということで、理科好きの生徒の育成を目的として、理科の実験・工作教室を継続で実施する予定です。今後は理科の実験・工作教室以外でのような体験講座が必要であるかを検討する必要があると考えられます。また、講座の申込方法について、今までは先着順での募集でしたが、仕事をしている家庭はなかなか申し込めないという意見があり、その方法も検討していく必要があります。</p>																																																																																	

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了 (時期:)
	改善内容 (改善点に対する改善方法等)	<p>特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり (下の枠に改善内容を記載してください。)</p> <p>「まきっ子塾」 平成28年9月から始まり、今後も、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的に取り組んでいきます。放課後に「まきっ子塾」で楽しく学習することによって、少しずつではありますが、勉強が好きになり、学力の向上については、長い目で見ていく必要があると考えます。また、児童が落ち着いて学習するためにも学習アドバイザーの人数確保が必要であり、県内の大学に募集チラシなどの設置等を依頼し、町HPなどでの周知の徹底をするなど、アドバイザーの確保に向けた取り組みが必要であると考えます。</p> <p>「子ども体験学習」 アンケート調査を実施し、その結果を基に今後の体験講座を検討していきたいと考えます。また、講座の申込方法については、先着順ではなく抽選にする等、工夫したいと思います。</p>				
後期 基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 継続 (名称変更)	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除	
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—			
		基本施策	④ 学校教育			
		施策の展開方向	② 子どもへの学習支援			
令和4年度 実施予定 (改善内容を踏まえて記載してください。)	<p>「まきっ子塾」 学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的に、水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っていきます。保護者のお迎えについても、ここ数年の多発する交通事故や不審者問題への対応として、従来通り保護者にお迎えに来てもらう形で進めていきます。また、開塾にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大の状況を見ながら、令和3年度同様に新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを遵守し、マスクの着用、机にアクリル板・教室には二酸化炭素濃度測定器を設置、消毒や検温、換気を徹底し、1学期から開催します。</p> <p>小学校への入学児童数は、年々減少傾向にありますが、「まきっ子塾」への児童の参加割合と内容の充実につきまして、児童数の増減に関わらず着実に進めていきます。その他、一人でも多くの児童に参加してもらうために、広報、ホームページ等掲載、募集チラシの工夫、学童保育利用者への声かけ等、関係課との連携を図ります。</p> <p>学習アドバイザーの人数確保のために、県内の大学に募集チラシなどの設置等を依頼し、町HPなどでの周知の徹底をするなど、アドバイザーの確保に取り組みます。</p> <p>「子ども体験学習」 令和3年度と同様に理科の実験・工作教室(3回)を継続して実施し、茶道教室(2回)・木工工作(2回)に関しても引き続き実施する予定です。さらに、ペガサスフェスタ開催日にブースを設けることで、より多くの子どもたち、保護者に積極的に参加し体験していただきたいと思います。</p>					
	指標 (予定)	KPI	「まきっ子塾」参加児童満足度			75%

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった																																																															
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																																																																		
	<p>コミュニケーションや学習につまずきを感じている児童生徒に寄り添いながら、小学校・中学校通級指導教室の運営を行うことができました。指導方法の創意工夫や他の教職員に対する指導助言等が総合的に効果を上げ、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童生徒の成長も見られました。また、保護者への教育相談にも丁寧に対応し、保護者が抱えている不安や課題の解消・緩和に努めました。</p> <p>加えて、教員が上牧町や河合町・王寺町の児童在籍校に赴いて指導する訪問通級指導も定着し、北葛城郡における通級指導教育のセンター的役割を果たすことができました。</p>																																																																		
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																																																																			
<p>小学校通級指導教室利用人数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>36</td> <td>43</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>王寺町</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>河合町</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>広陵町</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>中学校通級指導教室利用人数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上牧町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>						H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	上牧町	22	25	35	31	31	36	43	45	王寺町	3	6	5	9	13	17	15	13	河合町	1	3	3	5	8	9	12	11	広陵町	4	11	12	15	25					H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	上牧町							5	11
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																											
上牧町	22	25	35	31	31	36	43	45																																																											
王寺町	3	6	5	9	13	17	15	13																																																											
河合町	1	3	3	5	8	9	12	11																																																											
広陵町	4	11	12	15	25																																																														
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																																																											
上牧町							5	11																																																											
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある																																																															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>質の高い指導が保護者から好評で、指導時間や回数を増やしてほしいとの要望や、中学校通級指導教室では河合町の生徒を受け入れてほしいとの声が上がっています。</p>																																																																		
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直し余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直し余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直し余地がほとんどない																																																															
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>指導時間や回数等の要望がありますので、ニーズに合った指導ができるように検討していきたいと考えます。また、今後は、担当以外の教職員の通級指導教室に対する理解を深めていくことや、児童（6年生）が小学校から中学校に進学する際に、スムーズに中学校生活に移行できるよう、小中学校間において連携を深めることが求められると考えます。</p>																																																																		

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 見直して継続	<input type="checkbox"/> 一時休止	<input type="checkbox"/> 廃止・中止	<input type="checkbox"/> 完了 (時期：)	
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<p><input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。）</p> <p>自閉情緒等の障がいを抱える子どもたちが、集団の中でストレスを抱え込むことなく、充実した学校生活を送ることができるよう、通級指導体制の充実を図ります。また、通級指導教室に対する理解を深めることを目的として、担当以外の教職員に対しても奈良県立教育研究所が開催している研修会への参加を促していきます。</p> <p>その他、児童（6年生）が小学校から中学校に進学する際に、スムーズに中学校生活に移行することができるよう、小中学校において連携を深め、継続した指導の実施に努めます。</p>					
後期基本計画	移行状況	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続（名称変更）	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—				
		基本施策	④ 学校教育				
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	施策の展開方向	③ 安心して学べる教育環境の充実					
	<p>令和4年度は河合町と本町において小学校通級指導教室を実施するとともに、訪問通級指導についても実施していきます。また、中学校通級指導教室についても、よりきめ細やかな指導を継続して実施していきます。あわせて、新型コロナウイルス感染症対策にあたっては、グループ指導の際にパーテーションを使用するなど、適切な対策を講じながら安全に実施していきます。</p> <p>その他、通級指導員を指導する指導員を配置し、より一層事業の充実を目指します。</p>						
	指標（予定）	KPI	通級指導教員数			5人	
		—					
		—					
		—					
		—					

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>【上牧中学校】 7つの業種（旅行会社社員（JTB）・舞台芸術関係者（和太鼓奏者）・社会福祉法人職員（フレンズまきば）・洋菓子職人（MUON）・助産師（芽愛助産院）・美容師（COCOELMA）・リラクゼーションアロマセラピスト（アロマサロンKASANE））の職業人を講師として招き、講演会を開催しました。（中学2年生の生徒が参加） また、講演会終了後は、各講師指導のもと、実習を実施し、関心のある業種での業務を体験することができました。講演会や実習への参加を通じて、やりがいや意義、奥深さ等を理解することができ、就労に関する理解と意欲の向上につなげることができたと考えます。</p> <p>【上牧第二中学校】 当初予定していた職業体験が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりましたが、旅行事業者やフレンズまきばに協力していただき、リモートでの講演会に変更して開催し、中学2年生の生徒が参加しました。講演会への参加を通じて、将来に向けた職業観を形成する一助となりました。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>日本の教育現場では、社会に出てから生かせる能力の育成が課題となっており、実社会での体験や将来の職業について考えることができる機会としてキャリア教育のニーズは高まっています。また、地域産業においても、子どもたちが地域の魅力に気づき、ふるさとに対する愛着を育む機会である本事業に参加することで、担い手の確保につなげたいというニーズがあると考えます。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	<p>評価の根拠及び理由</p> <p>事業は現状を維持しながら進めていくことが基本となりますが、学習内容をより充実・発展させるための見直しとして、講師や事業所の新規開拓が挙げられます。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直して継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）		
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） ふるさと教育の推進にあたっては、今後、新たな協力先や機会を増やしていくことにより、地域との交流や職業体験の充実や特色づくりにつなげていきたいと考えます。		
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除		
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—	
		基本施策	④ 学校教育	
施策の展開方向		④ ふるさと教育の充実		
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	<p>【上牧中学校】 令和3年度に実施した内容を踏襲し職業人を招いた講演会を実施し、講演後に各講師指導のもと実習を行います。また、新たな講師については、今後も探していきたいと考えます。</p> <p>【上牧第二中学校】 職業体験については新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえながらの開催を検討し、就労に関しての幅広い知識や興味を獲得すると同時に、将来に向けた職業観の形成と意識改革を図っていきます。また、職業体験実施前には職業人を講師として招いて仕事に関する講演会を開催したり、ビジネスマナーを学ぶ講習会を開催することも考えています。新たな講師や職業体験先については、今後も探していきます。</p>			
	指標（予定）	KPI	県内企業や地域との交流活動回数（年間）	2回
		—		
		—		
		—		

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった
	●事業の分析（評価の根拠・理由）			
	<p>英語教育については、ALTを配置し、遊びを通じたコミュニケーションのほか、英語で歌を歌ったり、ダンスを踊ったり、様々な体験を通じて、英語や外国人に触れ合う機会を確保することができました。</p> <p>また、運動指導については、運動が苦手な子どもでもわかりやすい指導で、苦手克服につながり、子どもたちの自信につながっているように思われます。また、日常生活では子どもの運動不足を感じている保護者の方もいますが、安全な環境で子どもに適切な運動をさせることで、ニーズを満たすことができたと考えます。</p> <p>その他、支援を要する子どもへの支援のあり方について、担任教員と特別支援スタッフが指導計画等（それぞれの子どもに合った目標設定や具体的な支援方法）を話し合いなどを行うことで、理解や方向性を共有できており、子どもたちが自分でできることは見守り、困ったときにはすぐに手を差し伸べるなど、それぞれの子どものために寄り添った支援につながっていると考えます。</p>			
●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。				
ニーズの方向性	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある
	評価の根拠及び理由			
	<p>対象が幼児ということもあり、大人に比べ英語に耳が慣れるのも早いと思われる。また、毎回、歌ってくれる英語の歌については、一緒に歌える園児もいるほどで、子ども自身が楽しみながら英語を身につけられています。現場の教員からの評価も高く、また英語教育の重要性については保護者も強く感じているところであることから、英語教育のさらなる充実を求める声が聞かれました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化する中で、子どもたちの運動不足も懸念されており、園での体育教育で取り組む運動に対するニーズや重要性も高まっています。</p>			
事業の見直し余地（改善点）	評価	<input type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input checked="" type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない
	評価の根拠及び理由			
	<p>英語の歌やダンスを中心とした遊びながら自然と身につく英語教育に引き続き取り組んでいき、今後さらに進んでいくグローバル化に少しでも幼少期から慣れ親しめるように、英語に触れる機会の拡充を図っていきたくと考えます。</p> <p>また、体育教育については、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化している影響によって、運動不足に陥っている子どもたちへの対応が求められておりますので、子どもたちが自宅等でも取り組みたくなるような運動指導について検討します。</p>			

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期： ）			
	改善内容（改善点に対する改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 新型コロナウイルス感染症拡大の長期化等により運動不足に陥っているなど、子どもたちが抱える課題を解決できるよう指導者と相談し、工夫しながら幼児教育の充実を図ります。			
後期基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—		
		基本施策	⑤ 就学前教育		
施策の展開方向		① 幼児教育の充実			
令和4年度実施予定（改善内容を踏まえて記載してください。）	【英語教育の充実】 外国人講師を招き、英語や異文化とのふれあいの中で園児に対する英語教育や情操教育を進めます。 【体育教育の充実】 民間のスポーツ指導講師に授業を担当していただき、園児の基礎体力の向上を目指します。 【特別支援スタッフの充実】 上牧幼稚園において、支援が必要な園児には必ず特別支援スタッフを配置し、園児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めます				
	引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら安全に実施できるよう努めていきたいと考えます。				
	指標（予定）	KPI	幼稚園児と小学校児童との交流回数（年間）	3回	
		—			
		—			
—					

上牧町第5次総合計画評価シート

担当課	社会教育課	事業年度	令和3年度	総合計画掲載ページ	94ページ
担当係	生涯学習推進係	関連部局			

1. 事業概要「PLAN（計画）」

総合計画上の位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づく上牧っ子を育むまちづくり—
	基本施策	⑥ 文化財
	施策の展開方向	① 歴史文化の保全
目指す姿	タイトル	郷土の歴史文化を見つめ育むまち
	町内の文化財について学び親しむことで町民が郷土に誇りや愛着を持ち、次世代に歴史文化を継承していくまちを目指します。	
想定される取組	【町内に点在する伝説・歴史的文化等の調査研究】 【上牧久渡古墳群等の文化財の保存及び施設整備の推進】 【上牧久渡古墳群の教材の作成】 【画文帯環状乳神獣鏡等の遺物の管理と活用】 【上牧久渡古墳群整備計画の策定】 【上牧町文化財保存等基本方針の策定】	
令和3年度実施予定	趣旨目的	史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進を図ります。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡上牧久渡古墳群整備事業 実施設計・整備工事を実施します。 ・片岡城跡 維持管理のため樹木消毒業務・草刈業務を実施します。 ・歴史ガイドボランティア養成講座 令和2年度に引き続き受講生には知識を深めてもらい、今後は町主催事業等でガイドの活躍の機会を設けていきます。 ・町内の郷土学習のための教材作り（絵本等）を実施します。 ・国史跡上牧久渡古墳群を中心に町内の文化財に関しては、引き続き「歴史を学ぶ講座」を中心に普及・啓発を進めていきます。
総合戦略の取組	32. 史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進	

2. 実施結果「DO（実施）」

(単位：千円)

項目/年度	R03時点（中長期）	H29	H30	R01	R02	R03	備考	
	R04時点	H29（決算）	H30（決算）	R01（決算）	R02（決算）	R03（決算）		
事業費	文化財保護事業		13,688	11,848	15,266	1,605	5,094	
			13,688	11,848	15,266	1,605	4,646	
	史跡上牧久渡古墳群整備事業		0	0	0	23	54,170	令和2年度繰越金額9,978千円 繰越決算9,924千円 令和3年度事業決算14,239千円 令和3年度決算合計24,163千円 (内訳繰越決算9,924千円+ 令和3年度事業決算14,239千円)
			0	0	0	23	24,163	
	消費・周遊・移住促進事業		0	0	6,853	0	0	片岡城跡桜植栽整備工事 案内板設置工事
			0	0	6,853	0	0	
町制50周年記念事業		0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	1,551		
合計	(R03時点)		13,688	11,848	22,119	1,628	59,264	5年間累計 108,547
	(R04時点)		13,688	11,848	22,119	1,628	30,360	5年間累計 79,643
令和3年度実施結果	実施状況	④計画を変更して実施した						
	説明 (①以外を選択した場合、理由や取組内容について記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡上牧久渡古墳群整備事業 整備工事の内容等計画を変更して実施しました。 ・町制50周年記念事業 上牧町内に飛鳥時代に存在した瓦製作（大谷瓦散布地）に関する児童図書（絵本）制作を行いました。 						

※「R03（決算）」は検証時点では決算見込み

●KPIの状況

成果指標名	指標の説明 (算定根拠・方法)	単位	H27 (2015年) 【基準値】	R02 (2020年)	R03 (2021年)	R03 (2021年) 【目標値】	R08 (2026年) 【最終目標値】
				実績値	目標値 実績値		
KPI	文化財保存について	%	0	0	— —	100	100
KPI	上牧久渡古墳群の整備	%	用地買収95 【未整備】	用地100整備40	用地100整備60 用地100整備45	用地買収100 【整備概ね完了】	用地買収100 【整備完了】

3. 事業の分析「CHECK（評価）」

達成度	評価	<input type="checkbox"/> A. 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="checkbox"/> B. 概ね目標の成果が得られた	<input type="checkbox"/> C. 目標とする成果は得られなかった													
	●事業の分析（評価の根拠・理由）																
	<p>・ 史跡上牧久渡古墳群整備事業については、防災調整池の変更に伴う調査を行うこととなったため年次計画の見直しをする状況になりました。</p> <p>・ 歴史を学ぶ講座は「聖徳太子～没後1400年～」をテーマに年10回の講演を行い、新型コロナウイルス感染症対策として、1回の講演を2日に分け、40人ずつ計80人の受講がありました。</p> <p>・ 歴史ガイドボランティア養成講座については、令和2年度に引き続き受講生には知識を深めてもらい、実践の機会として、奈良県ウォーキング協会主催の「ひまわり早朝ウォーキング」や町主催事業のジュニアリーダー研修や社会教育委員研修にて、片岡城跡についてガイド案内を行うことができました。</p> <p>・ 町制50周年記念事業の一環として、未来を担う子どもたちの郷土愛を育むことを目的に、小学生向けに当町内に飛鳥時代に存在した瓦製作等（大谷瓦散布地）に関する絵本の制作を行いました。制作に際しては、当町在住の放送作家の方に構成表・シナリオの作成に協力いただき、中学校美術部員に絵本の色付けをお願いしました。</p> <p>以上のことから町民等に対して文化財の普及啓発に関して、概ねの目標が得られたと考えます。</p>																
ニーズの方向性	●事業の分析（データ：表・グラフ等）※根拠を示すものや内容を補足するものがあれば貼り付けてください。																
	史跡上牧久渡古墳群の整備（KPI）指標																
	<table border="1"> <tr> <td>保存活用計画 策定</td> <td>基本計画・基本設計 策定</td> <td>実施設計</td> <td>第一期 整備工事</td> <td>第二期 整備工事</td> <td>第三期 整備工事</td> <td>整備報告書 作成</td> </tr> <tr> <td>進捗率(%)</td> <td>20</td> <td>40</td> <td>60</td> <td>80</td> <td>100</td> <td>整備事業完了</td> </tr> </table>				保存活用計画 策定	基本計画・基本設計 策定	実施設計	第一期 整備工事	第二期 整備工事	第三期 整備工事	整備報告書 作成	進捗率(%)	20	40	60	80	100
保存活用計画 策定	基本計画・基本設計 策定	実施設計	第一期 整備工事	第二期 整備工事	第三期 整備工事	整備報告書 作成											
進捗率(%)	20	40	60	80	100	整備事業完了											
事業の見直し余地 （改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 増加する傾向にある	<input type="checkbox"/> B. 現状と変わらない	<input type="checkbox"/> C. 減少する傾向にある													
	評価の根拠及び理由																
	<p>平成28年度から実施している「歴史を学ぶ講座」の参加者も増加しており、平成24年度からの上牧久渡古墳群発掘調査・整備事業の実施にあわせて、国史跡上牧久渡古墳群を中心に上牧町の文化財についての注目度も高まっています。</p> <p>また、片岡城跡についても関連する人物がテレビのドラマで取り上げられたことによって注目が集まっています。</p>																
事業の見直し余地 （改善点）	評価	<input checked="" type="checkbox"/> A. 見直す余地がありすぐに実施	<input type="checkbox"/> B. 見直す余地があるが時間が必要	<input type="checkbox"/> C. 見直す余地がほとんどない													
	評価の根拠及び理由																
	<p>史跡上牧久渡古墳群整備事業において、文化庁や県担当課に指導を受けながら、庁内関係課と連携し整備事業を更に円滑に進めて行く必要があります。</p>																

4. 今後の方向性「ACTION（改善）」

今後の方針	施策展開	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しして継続 <input type="checkbox"/> 一時休止 <input type="checkbox"/> 廃止・中止 <input type="checkbox"/> 完了（時期：）			
	改善内容 （改善点に対する 改善方法等）	<input type="checkbox"/> 特になし <input checked="" type="checkbox"/> 改善点あり（下の枠に改善内容を記載してください。） 史跡上牧久渡古墳群整備事業において、文化庁や県担当課に指導を受けながら、庁内関係課と連携し整備事業を更に円滑に進めて行く必要があります。			
後期 基本計画	移行状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続（名称変更） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 削除			
	位置づけ	政策	⑤ 教育文化—歴史文化が息づき上牧っ子を育むまちづくり—		
		基本施策	⑥ 文化財		
令和4年度 実施予定 （改善内容を踏まえて 記載してください。）	施策の展開方向	① 歴史文化の保全			
	史跡上牧久渡古墳群整備事業については、実施設計・整備工事（仮設道造設工事）を実施します。 歴史ガイドボランティア養成講座については、引き続き受講生には知識を深めてもらい、実践の機会を増やしていきます。 引き続き文化財を紹介する動画を作成し、YouTubeで配信を行っていきとともに、町制50周年記念事業で制作した絵本「かんまきかわらのおはなし ささゆりと中大兄皇子」を活用し普及啓発を行っていきます。郷土学習として画文帯環状乳神獣鏡や上牧銅鐸のレプリカ等を学校に貸出を行い、活用していきます。 また、片岡城跡についても環境整備を行っていきます。				
	指標 （予定）	KPI	史跡上牧久渡古墳群の整備		60%
	KPI	歴史ガイドボランティアの養成人数（目標年度終了時点）		20人	
	—				